

市報くにたち有料広告枠一時貸付仕様書

1. 事業名

市報くにたち有料広告枠一時貸付事業

2. 業務目的

本事業（市報くにたち有料広告枠一時貸付事業）は、国立市との契約により広告代理店業を営む事業者（以下「事業者」という。）へ「市報くにたち」（以下「市報」という。）に掲載する1カ年度分の広告枠を貸し付けるものである。事業者がその貸付料を支払うことにより、市報の毎年度の広告収入の安定確保を図ることができるとともに、当市職員の広告掲載事務にかかる負担を軽減させることが目的である。

3. 市報くにたちの概要

- (1) 名称 市報くにたち
- (2) 発行部数 毎月5日・20日の2回発行（5日・20日合併号あり）
1号につき44,200部（令和8年度（2026年度）予定。発行部数は世帯数の変化により毎号変わる）
- (3) 配布方法 シルバー人材センターの配布員を通じて、市内全世帯および公共施設ほか、希望のあった法人等へ配布
- (4) 規格 タブロイド版、8ページ（4色刷り）（変更の可能性あり）
- (5) 紙質 再生上質紙米坪64 g/m²、古紙配合率70%以上、白色70%程度

4. 掲載広告の規格等

- (1) 掲載枠数 市報1号につき6枠（年21回の発行で合計126枠）
- (2) 掲載位置 1面を除いたページの最下段、または2段組みにして掲載
- (3) 規格等

①サイズ

- 1 枠の場合 縦4.5センチメートル×横7.8センチメートル
- 2 枠の場合 縦4.5センチメートル×横16センチメートル
- 3 枠の場合 縦4.5センチメートル×横24センチメートル

ただし、他事業者から申込がなく、特に不利益や不公正が生じなければ、広告1件につき、隣り合う複数の枠を最大4枠まで確保できる。

②刷り色

4色

③データ形式

本市で修正の必要がない完全データ（ai形式、eps形式または高画質のpdf形式）

5. 掲載広告の基準等

掲載する広告は、市民生活に関連する広告であり、市民の利便の向上を図ることができるものとする。また、次の各号のいずれにも該当しないものとする。

- (1) 広告を掲載することにより、市の公共性、中立性及び品位を損なうおそれのあるもの
- (2) 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和23年法律第122号）第2条各号に掲げる営業に関するもの
- (3) 美観及び景観を損ねるもの、または公共物等の本来の目的を損なうもの
- (4) 政治、宗教、意見及び個人の宣伝に関するもの
- (5) 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれのあるもの
- (6) 屋外広告物に関する法令及び東京都屋外広告物条例（昭和24年東京都条例第100号）に違反するもの
- (7) (1) から (6) に掲げるもののほか、掲載する広告として適当でないと市長が認めるもの

6. 貸付対象となる掲載広告枠

契約期間内に市が作成・印刷する市報 21号分 126枠

（令和8年度（2026年度）4月20日号から令和9年度（2027年度）4月5日号）

7. 掲載広告の決定

広告掲載の決定にあたっては、あらかじめ市の承認を得るものとする。

8. 事業者および広告主の責務等

- (1) 事業者及び広告主は、掲載広告の内容に関する一切の責任を負うものとする。
- (2) 第三者から広告に関連して損害を被ったという請求がなされた場合は、事業者及び広告主の責任及び負担において解決するものとし、本市は責任及び負担を負わないものとする。

9. 広告掲載までの工程・納品等

- (1) 事業者は、市報1号分の広告デザイン案（6枠）・掲載レイアウトを広告掲載号の入稿日より3日前（土・日曜・祝日を除く平日）までに市長室広報・広聴係へ提出し、本市による広告掲載の審査を必ず受ける。広告デザイン案は、データで提出とする。
- (2) 本市から(1)の審査結果を受けたときは、事業者は遅滞なくその審査結果を広告主に連絡する。
- (3) (1)の審査結果の連絡に、広告内容等の一部を修正することを条件として広告掲載を可とする旨の指摘があったときは、事業者は本市が指定する期日までに必要な修正を行った広告デザイン案を市に提出し、再度本市による広告掲載の

審査を必ず受ける。

(4) (1) または (3) の審査の結果、本市から広告掲載を可とする決定を受けた場合、事業者は必ず (1) または (3) で提出した広告デザインデータを 4. の (3) に従ってデータ化し、広告掲載号の入稿日の前日午後 5 時まで（土・日曜・祝日を除く平日）に、本市担当係へメールにて納品する。

(5) 納品データは、完全版下の電子データ（イラストレーターの場合は拡張子が、ai 形式、eps 形式、または高画質の pdf）で、フォントをすべてアウトライン化する。

10. 掲載広告の著作権等

(1) 納品する広告データは、必ず著作権・肖像権上の処理を済ませた上で納品する。

(2) 著作権等に関する紛争が生じた場合は、事業者の責任において対応するものとし、本市は一切の責任を負わないものとする。

11. 掲載広告の順位

広告を掲載する順位は、本市の広報紙の性質を考慮し、地域性および公共性の高いものを優先し、次の (1) から (3) までの順序になるようできるだけ配慮すること。

(1) 国、地方公共団体、公社、公団、公益法人およびこれらに類するもの（以下「国等」という）

(2) 国等を除く市内に事業所等を有するものにかかる広告で、その事業内容が公共的性格を有するもの

(3) (1) (2) 以外に掲げる広告以外で、本市の広報紙に広告を掲載することが適当であると認められるもの

12. 広告掲載の取消し

市長は、次の各号に該当するときは、広告掲載の決定を取り消すことができる。

(1) 事業者が市長の指定する期日までに広告原稿を提出しないとき又は広告掲載料を納入しないとき。

(2) 審査を受けていない広告や、審査結果後、当市から修正の指示があったにもかかわらず、修正がされていない広告を掲載しようとしたとき。

(3) 前号に掲げるもののほか、広告掲載に特に支障があると市長が認めるとき。

13. 広告掲載に関する留意事項

(1) 広告主および広告の内容については、本仕様書、国立市有料広告掲載に関する取扱要綱、市報くにたち広告掲載取扱要領に適合すること。

(2) 本市は、事業者の業務履行状況を不適当と認めた場合は、その理由を提示し、業務の改善を事業者に求めることができる。改善されなければ、当該事業者との契約を取り消すことができる。

- (4) 本業務の遂行に伴う一切の費用（集稿・デザイン・版下代等等）は、事業者の負担とする。
- (5) 事業者は、契約期間中、本仕様書および別添の市報くにたち有料広告枠一時貸付契約書、市報くにたち広告掲載取扱要領等の定めに従って本事業を継続して運営する。
- (6) 本仕様書および別添の市報くにたち有料広告枠一時貸付契約書、市報くにたち広告掲載取扱要領等に定めのない事項及び疑義が生じた場合は、双方協議の上、決定する。